

ます、兒童に大體の形をハッキリ印象させるために、其の描畫の内部を墨で眞黒に塗り潰す方法は、シルエツト法 (Silhouette) と唱へて圖書科に於て最大切なる事柄であります、或は輪廓線のみで物體の形狀を描き見はす方法もあります、我邦には古來より後者の方法最よく發達せるもので、彼のシルエツト法と同様に、教育的價値を有するものであります。

はなしやうぶ

はなしやうぶ(花菖蒲)の花は其萼花冠雄蕊雌蕊は各三の數からなつて居ます、即萼は臣の最外部となつて大形をして恰も花瓣の様な形をして居ります、此萼と互生して居る花瓣は模形的の花では萼より著しく小さくて鈍頭であります、色は萼と

此の麥稈の輪廓法は、實に輪廓畫の方法を麥稈に代へたるものであつて、頗る教育的價値を有せるものであります。且つ普通の紙類や布類で製作した裝飾品は、汚穢せしとき水で洗ふことが出来ませんが、此の麥稈細工は幾度でも水で洗ふことが出来ますから、何時までも光澤を失ひません、季節は恰も麥稈を抜き取るによい時でありますから必一應御實驗を願ひたいのであります。

東京女子高等師範學校助教

保井コノ

同様であります、それで植物の方では此萼と花冠とをまとめて花蓋と申しますから萼を外花蓋花瓣を内花蓋と申します、外花蓋に對してまた花瓣様なものがあります是が雌蕊の上部であります雌蕊は下生子房を持つて居ますが其上部は花蓋と同様の色

をして居りますのが普通であります、しかし普通
他の花に柱頭といふ花粉を受ける部分は此花瓣状
をして居るもの、先端でなくして此部の外方を見
ますと、先端から少しく下つた所に一寸した段の
様な部分があります、是が柱頭であつて却つて上
にある部分は花柱に屬するものです此花柱と外花
蓋との間を見ますと其處に雄蕊の潜在するのが見
られます、此雄蕊は雌蕊と斯様に接近してありま
すけれども柱頭と葯とは其成熟の時が違つて居り
ますから自花受粉は行はれないので花粉は常に蜂
等の昆虫によつて授粉の媒をせられます、即ち昆虫は
此雄蕊の基部に近くある蜜槽から出る蜜を採る爲
に此花柱と外花蓋との間にもぐる時に他の花より
持ち來つた花粉を柱頭につける事はあり、また此
雄蕊から花粉を持ち去ります、子房は三室あつて
多數の胚珠を持つて居りますから随つて多數の種
子を生じます、そして此花全體は苞を以て最初は

つゝまれて居ります。

花萼蒲の様な花の構造を持つ植物を鳶尾科植物
と申す、是等の植物の葉は概ね劍状をして居り
ますそして此葉の兩面は普通他の植物の葉の下面
に當る部分で御座います、普通の葉の上面に當る
部分は葉の下部で莖又は他の葉を擁く部分の内面
が其れであります、つまり普通の葉が中肋を中心
として上に向つて二つに折れてたゞまつて兩片が
附着したものと見ればさしつかへがない譯です、
此植物の莖は花をつける地上莖と地中にある地下
莖とあつて地下莖は地上莖の枯死した後にも尙殘
存して翌春新しい芽を出します、地下莖には多數
の根を持つて居ります、此根の古いのを見ますと
それには横の皺が澤山にあります此皺は大層面白
いのであります、最初根が延びる時は全くないの
であります、根が充分に地中に展開して後に根が
縮む爲に出来るものであります、地下莖は此根の

縮む爲に地中に曳き込まれるのであつて植物は其爲に其位置に固定され地下莖が浮く事がない様になりませぬ。

鳶尾科の植物で花菖蒲に似て居るものを申せば次の如きものであります。

いちばつ 是は花の外花蓋の中央部に雛冠の様な突起を持つて居るのが持兆です。

あやめ 是は葉も小さく花も小さく且外花蓋に黄色の地に紫色の網目状の模様のあるものです。

いちばつ 是が花菖蒲と間違へられますが此内花蓋は鋭頭でありますのと紫色であるのが持兆で葉は著しい中助をもつて居りませぬ。

玄やが 是は花が濃緑色で光澤を持つて居り花も非常に違ひますから間違ひはありません。

にほひしやうぶ 是は「イリス、フロレンチナ」と呼ぶものであります。が全體はいちばつに似て居ます。が外花蓋の突起が毛状であります。此植物の地

下莖は「イリス根」と唱へて香料に用ゐられます。

此他花菖蒲に似た花をもつものは澤山あります。が花菖蒲自身も澤山の園藝變種を持つて居りまして其數三百以上にもなります。

是等は其花の形の種々雑多なるのみならず其色も又異なつて居りますから模型的の形を離れたものも多數にあります。

花菖蒲に似ない鳶尾科の植物は色々あります。是は花蓋の形が似て居ない丈で根本的の花の構造

は同様なのであります。にはせきしやう、ひあふぎ、等が是であります。

序に菖蒲について一言したいと思ひます。五月の節句に飾る菖蒲は名は似て居りますが花の構造

などは著しく違つて此植物はさといも、こんにやく、せきしやう、かいなど、共に天南墨科に屬

するもので花は肉穂花序と云つて多數の花の集つて穂状をして居ります。少しも美しくない花であります。